

CONTENTS COMBAT

2015.Jul.
No.472

7

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo
TOMO HASEGAWA
©WORLD PHOTO PRESS 2015

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



【第1特集／実銃】

008 OAKLAND PD SWAT TRAINING

Photos&Text by Tomo Hasegawa

018 ブレン・テン Bren Ten

Text & Photos by Hiro Soga

052 Smith & Wesson M&P9 Pro Series C.O.R.E.

Text by Kamiya Kikaku Photo by Takeo Ishii

【第2特集／トイガン】

026 WESTERN ARMS COLT NEW GOLD CUP NATIONAL MACH Ver.2015

Photos & Text by SHOTGUN MARCY

032 WESTERN ARMS BERETTA M92FS BRIGADIER INOX

Photos & Text by SHOTGUN MARCY

068 トイガンニュース

- 068 東京マルイ オートマチック電動ショットガン AA-12
- 072 東京マルイ ガスブローバック M4A1 MWS
- 073 東京マルイ U.S. M9 PISTOL
- 074 東京マルイ Hi-CAPA 5.1 GOLD Match
- 075 東京マルイ BBエアリーボルバー・シリーズ
- 076 WA SVインフィニティ・シティ(ハイブリッド/ブラックVer.)
- 077 WA ポブチャウ・スペシャルVer.1.5(ビンテージ・エディション)
- 077 WA ライバック1911(ビンテージ・エディション)
- 078 タナカ コルトSAA 1st(7 $\frac{1}{2}$ インチHW)
- 079 タナカ コルトSAA 2nd(5 $\frac{1}{2}$ インチシュビター)



144 ガン&ミリタリー専門誌4誌対抗 女子サバゲ選手権 射撃ゲーム&サバゲ交流戦2015春

Text by Yui Kamiya Photos by Takeo Ishii

【第3特集／ミリタリー】

038 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ]

LBTフローテーション・チェストリグLBT-1879 特集Part.2
解説:松原隆 撮影:山崎 学

058 NEW GENERATION STYLER UOC (Unknown Operators Convention) Vol.5

by fujiwara

080 月刊・自衛隊 につぼんのちからこぶ

取材:菊池雅之

085 Militaria Roundup! アメリカ陸軍 アーミー・グリーン・ユニフォームPart.3

解説:菊月俊之

149 KNIFE

150 相田義人のインテグラル・ナイフの製造工程Part.3

154 マルチミッション・アクセス

158 スタッフ通信 from Knife Magazine Staff



004 COMBAT FRONT LINE

048 Goods & Accessory

084 サーいじ技研

096 PRESENT

130 FEAR NOT THE DARK..... Power of Light

SURE FIRE

act08 “上質”ヘッドライト“MINIMUS” & “MAXIMUS”

Photos & Text Tomo Hasegawa

134 走って撃って楽しんで サバゲ放浪記 ゆい散歩 其の8 GUAM編

取材:上矢ゆい

136 PROJECT NINJA

morizo(東京装備BAKA)

140 兵装嗜癖

by Fujiwara

200 中田商店グッズ

202 S&Grafグッズ

097 ふれんどりっファイヤー!

105 GAME OVER THE TOP

108 ミリタリー雑学講座

112 蛙のゆびさき(中山 蛙)

114 師団祭レポート●取材:菊池雅之

116 闘人列伝 第二回 伊藤慎一

120 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

122 戦車兵通信 WORLD OF TANKS

124 トイガンズジャンクション

177 バックナンバーリスト

178 ミリタリー・コレクション

180 レア・ミリタリー・テクノロジー

182 A STITCH IN TIME

183 死ななきゃ食べる! 救荒食指南

184 狩野健一郎のシネマ放浪記

185 狩野健一郎の新作DVD紹介

186 物欲ワンホール

190 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

191 読者プレゼント応募方法

192 編集後記





OAKLAND PD SWAT TRAINING

M4ライフルの激しい銃撃に逆巻く砂塵。
40℃を超える猛暑の中、
ボディーマーフル装備で、汗と砂まみれで訓練する男達がいる。
カリフォルニア州オークランド。
アメリカ有数の犯罪都市で治安維持に尽力するSWATチーム。
その訓練に密着!!

Photos&Text by Tomo Hasegawa

— プレン・テン —

BREN TEN

悲劇のヒーロー、その変わらない魅力

10mmAUTO BREN-TEN。あの“コンバットシューティングのマスター”ジェフ・クーパー氏が、そのデザインにかかわった事で知られているのが、“プレッテン”である。1984年に、.357マグナムと同等の威力を持つセミオート弾薬として開発された10mmオートを使用する画期的なピストルとして登場したが、ポピュラーにはなりきれずに姿を消してしまった、悲劇のヒーローの魅力に迫ってみたい。

by Hiro Soga



BREN TEN Standard Model

プレッテン スタンダードモデル

Caliber: 10mm Auto Barrel
Length: 5"
Operation: Double/Single Action
Function: Browning Short Recoil

センチメンタル バリュー

我々オジさん世代には、根強い人気を持っているのが“プレッテン 10mmオート”である。

その理由はいくつかあるが、まずもって上げられるのは、1984年にリリースされたTVシリーズ『マイアミ・バイス』で、主人公のひとり、ジェイムス“サニー”クロケットが、2シーズンに亘ってプレッテンを使い倒したことにある。ご存知の方も多いと思うが、この番組は衝撃的かつ画期的なシリーズであった。音楽が凄い、アクションも派手かつリアルスティック、ストーリーも面白ければ、意外な人物がわざわざ登場するなど、目を離せない人気シリーズだったのだ。ちなみに、スペシャルゲストとして、フィル・コリンズ、グレン・フライ（イーグルス）、ウィリー・ネルスン、シーナ・イーストンといった顔ぶれが、アクターとして登場していたというのはご存知だろ

うか。とにかく、強力なインパクトを持った番組だったのだ。

次に、我々のガン好き世代にとっては神様とも言える、あの“コンバットマスター”ジェフ・クーパー氏が、このプレッテンのデザインにかかわっていたという事実がある。クーパー氏

が、プライマリーハンドガンとして、カスタムを施した“ガヴァメント”を選んでいるというのは、良く知られている。彼が理想のハンドガンデザインとして挙げていた“CZ75”（9mm口径というのは、威力不足で問題外という話だったが）を元に、さらに改良を加え



COLT NEW GOLD CUP NATIONAL MATCH Ver.2015



コルトNEWゴールドカップ・ ナショナルマッチ/Ver.2015

- 全長：約217mm
- 銃身長：約114mm
- 重量：約860g
- 装弾数：21+1発
- 価格：5万1,840円
- WA渋谷店限定、好評発売中!!

メタル・チャンバーカバーの刻印はシンプル
なNMパターン。



21世紀仕様で登場した コルト純正のカスタム.45

スタンダード・タイプ、コブラ、マ
ギー、そしてアルティメット・コレク
ションと、数多くのゴールドカップ・
ナショナルマッチ（以下：GCNM）を
製作してきたウエスタン アームズ（以
下：WA）が、最新のコルト・カスタ
ム“ニューゴールドカップNM バージ
ョン2015”をモデルアップした。ミリ
タリー・タイプをベースにしたM1911
（A1）シリーズは、全体に丸みのある
シルエットが特徴になっているが、
GCNMはそれらとは異なるシッ
ェット。全体的に見れば、スライ
ドトップ



メタリオンはプラスチック製のスペシャルパーツ。グリップ・
パネルは、アメリカのカスタムグリップ・メーカー、
ヘレツから直輸入したダブルダイヤモンド・チェ
ッカー・タイプ。ハイグレードな仕上げを施した天然ウ
ッド製のプレミアム・グリップだ。

にサイトリブが追加されているだけだ
が、それが、M1911とは一線を画すシ
ャープな印象を与える。それがゴール
ドカップ・シリーズの個性であり、大
きな魅力となって、絶大な人気を誇る
.45のひとつになってきた。

今回WAがモデルアップした
GCNMは、今年1月にネバダ州ラスベ
ガスで開催されたガンショー、「ショッ
トショー2015」で発表されたばかりの
ニューライン。発表から、わずか半年
弱というスピーディなモデルアップだ。



LBT最強のチェストリグ LBT-1879シリーズ第2弾

LBT-1879A
初期モデル



FRONT

LBT-1879Aフルセット。同社ベルトパッドとショルダーパッドは別売り。SEAL放出品なのでナイロンテープの末端処理やベアスメーカーが最初から装着されている。浮力パネルは付属していないがA～Eシリーズ全て共通だ。

BACK



The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第130回

●解説: 松原隆 ●撮影: 山崎 学 ●協力ショップ: LAZY CAT (<http://lazycat.jp/>) / TRI'S (旧特小工房) (<http://tri-ss.com/>) / Gamis (<http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>) / トイソルジャー (<http://www.toysoldier.com.hk/>)
●参考資料: US NAVY (<http://www.navy.mil/>)

LBTフローテーション・チェストリグ LBT-1879特集

Part.2



1. マガジンポーチはM4マガジンが3本入る。2. ファスナーは黒く固いナイロン紐でツマミを作っている。3. 浮力ベルトパッドとの固定はチェストリグ下部に設けられているプラスチック製Dリングに装着する。4. ショルダーベルトはチェストリグのハーネスに設けられたバイルテープで固定されている。



Smith & Wesson M&P9 Pro Series C.O.R.E.

現在、水面下で有力各社がしのぎを削っているらしい「米軍次期サイドアーム」の座を賭けた熾烈な競争。そんな中、“頭ひとつリード?”との下馬評も高いのがSmith & WessonのM&P(Military & Police)だ。

特に小型ダットサイトをマウントするためのターミナル加工をスライドに施したPro Series C.O.R.E.は、これからの方向性を指し示す1挺に思えてならない。

● Text by Kamiya Kikaku ● Photo by Takeo Ishii
● 撮影協力: グラム野外射撃場 G.O.S.R. (<http://www.gosrjapan.com>)
参考資料: Smith & Wesson (<http://www.smith-wesson.com>)

オートマチック
電動ショットガン AA-12

AA-12

- 全長：839mm (予定)
- 重量：4,200g (予定)
- 装弾数：90発
- 価格：未定

静岡ホビーショーで発表! 電動ショットガン!!

第54回静岡ホビーショーにおける東京マルイ一番の注目商品と言えば、なんと言ってもこの「AA-12」だろう。

「AA」とは、AUTO ASSAULT (オート・アサルト) の略だ。名前からして凶暴な予感がするが、その名の通り、このモデルは12ゲージのショットシェルをフルオートで撃つ事が可能。アサルトライフルですら相当な攻撃力を持っているというのに、このモデルは、ショットシェルをフルオートで撃ち出すというのだから驚きだ。

近未来的なフォルムと攻撃力の高さからか、アクション映画やSF映画などで登場する機会も多く、マニアの間でも知られたモデルだが、これまでにモデルアップはされていなかった。そんなフルオートショットガンという超攻撃的なメカニズムを持つショットガンを次期新製品にチョイスする辺り、東京マルイの意気込みが伺えるというもの。しかも新ジャンルの電動ショットガンでモデルアップするというのだから凄い。

従来の電動ガンには無い新し

い「電動ショットガン」というジャンルとなるこのモデルには驚きのメカニズムが満載されている。

完全新設計によるメカボックスはひとつのモーターで3つのシリンダーを動作させる。この3つのシリンダーにはそれぞれチェンバーとバレルを装備しており、従来のショットガンシリーズ同様、3発同時発射が可能となっている。各チェンバーには可変HOP UPシステムを搭載。それぞれのバレルで細かいHOP調整が行なえるという。この3本のインナーバレルは、三